

岐阜県では平成20年4月より、「障害」を「障がい」と表記することとしているが、国や県が定める法令に規定されている用語、名称等や団体、機関等の固有名称は「障害」の表記を用いることとしているため、本試験においては、「障害」の表記で統一して出題している。

令和4年度採用 中学校専門 家庭科

志願種別	
受験番号	

【11】次のア～オの文章のうち、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭科編（平成29年7月 文部科学省） 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」に記載された内容として、正しいものの組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

ア 指導に当たっては、衣食住など生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解する学習活動や、自分の生活における課題を解決するために言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ること。

イ 指導に当たっては、コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用して、実習等における情報の収集・整理や、実践結果の発表などを行うことができるよう工夫すること。

ウ 生活の自立の基礎を培う基礎的・基本的な知識及び技能を習得するために、調理や製作等の手順の根拠について考えたり、実践する喜びを味わったりするなどの実践的・体験的な活動を充実すること。

エ 資質・能力の育成を図り、一人一人の個性を生かし伸ばすよう、生徒の興味・関心を踏まえた学習課題の設定、技能の習得状況に応じた少人数指導や教材・教具の工夫など個に応じた指導の充実に努めること。

オ 生徒が、学習した知識及び技能を生活に活用したり、生活や社会の変化に対応したりすることができるよう、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動を充実するとともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮すること。

① ア・イ・ウ

② ア・エ・オ

③ ア・ウ・オ

④ イ・ウ・エ

⑤ イ・エ・オ

【12】次の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭科編（平成29年7月 文部科学省） 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第3節 家庭分野の目標及び内容 3 家庭分野の内容 B 衣食住の生活 食生活」の一部である。（a）～（d）に当てはまる語句の正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

（1）食事の役割と中学生の栄養の特徴

ここでは、食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題をもって、食事が果たす役割や中学生に必要な栄養の特徴、健康によい（a）に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、健康のために（a）を工夫することができるようになることをねらいとしている。

（2）中学生に必要な栄養を満たす食事

ここでは、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題をもって、栄養素や食品の栄養的な特質、中学生の1日に必要な食品の（b）、1日分の献立作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、中学生の1日分の献立を工夫することができるようになることをねらいとしている。

（3）日常食の調理と地域の食文化

ここでは、日常食の調理と地域の食文化について、課題をもって、食品の選択と調理、地域の食文化に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常食又は地域の食材などを生かした調理を工夫することができるようになることをねらいとしている。

そのために、特に調理については、小学校での学習を踏まえ、1食分の献立を（c）を考えながら調理することができるよう配慮するとともに、安全と衛生に留意して食品や調理器具等の適切な（d）ができるようにする。

	a	b	c	d
①	食生活	働きと分量	時間	管理
②	食習慣	種類と概量	手順	使用
③	食習慣	働きと分量	時間	使用
④	食習慣	種類と概量	手順	管理
⑤	食生活	働きと分量	時間	使用

【13】 「日本食品標準成分表2020年版(八訂)(令和2年12月 文部科学省 科学技術・学術審議会 資源調査分科会 報告)」に掲載されている次の(ア)～(オ)の食品について、可食部100g中に含まれる鉄の量が多い順に並べたものを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

- | | |
|----------------|------------|
| (ア) こまつな〈葉・生〉 | (イ) 油揚げ〈生〉 |
| (ウ) 鶏卵〈全卵・生〉 | (エ) ごま〈いり〉 |
| (オ) 乾燥わかめ〈素干し〉 | |

- ① (オ) → (エ) → (ア) → (ウ) → (イ)
- ② (イ) → (ア) → (オ) → (エ) → (ウ)
- ③ (ウ) → (オ) → (エ) → (ア) → (イ)
- ④ (ア) → (ウ) → (イ) → (オ) → (エ)
- ⑤ (エ) → (イ) → (ア) → (オ) → (ウ)

【14】次の文章は、『仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章』及び『仕事と生活の調和推進のための行動指針』（平成19年12月18日 ワーク・ライフ・バランス推進官民トップ会議決定）の一部である。（a）～（e）に当てはまる語句を、【選択肢】のア～コの中から選択し、その組み合わせとして正しいものを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

仕事と生活の調和が（a）社会とは、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の（b）を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」である。

具体的には、以下のような社会を目指すべきである。

- (1) (c)による経済的自立が可能な社会
- (2) 健康で豊かな生活のための（d）が確保できる社会
- (3) 多様な（e）・生き方が選択できる社会

※上記の（1）～（3）は原文では①～③であるが、出題の①～③と区別するため、（1）～（3）で表記することとする。

【選択肢】

ア 就労 力 責任	イ 役割 キ 実現した	ウ 時間 ク 男女参画	エ 考え方 ケ 働き方	オ 整った コ 環境
--------------	----------------	----------------	----------------	---------------

	a	b	c	d	e
①	キ	カ	ア	ウ	ケ
②	キ	イ	ク	コ	ケ
③	オ	カ	ク	ウ	エ
④	キ	イ	ア	コ	エ
⑤	オ	イ	ク	ウ	ケ

【15】 次の①～⑤の文章のうち、認知症についての説明として適切でないものを一つ選べ。

- ① 「『痴呆』に替わる用語に関する検討会（平成16年12月24日）」において、「痴呆」に替わる新たな用語としては、「認知症」が最も適当であるという結論に至った。
- ② 厚生労働省によると、認知症とは、正常に働いていた脳の機能が低下し、記憶や思考への影響がみられる病気である。その中の脳梗塞や脳出血などの脳血管障害による認知症は、脳神経が変性して脳の一部が委縮していく過程でおきる認知症である。
- ③ 厚生労働省によると、若くても、脳血管障害や若年性アルツハイマー病の為に認知症を発症することがあり、65歳未満で発症した認知症を若年性認知症という。
- ④ 「認知症施策推進大綱（令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定）」は、「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進しており、「認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会」を目指している。
- ⑤ 日本だけでなく、英国、米国、フランス、オーストラリアなど、世界各国において、政府による認知症戦略策定が進展している。

【16】 次の表の①～⑤は、条約や法律の条文を示したものである。条約や法律の名称と条文の組合せとして誤っているものを一つ選べ。

	条約や法律	条 文
①	母子保健法	市町村は、妊娠の届出をした者に対して、母子健康手帳を交付しなければならない。
②	予防接種法	この法律は、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため公衆衛生の見地から予防接種の実施その他必要な措置を講ずることにより、国民の健康の保持に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とする。
③	労働基準法	使用者は、六週間（多胎妊娠の場合にあつては、十四週間）以内に出産する予定の女性が休業を請求した場合においては、その者を就業させてはならない。
④	児童福祉法	すべての児童は、家庭で、正しい愛情と知識と技術をもつて育てられ、家庭に恵まれない児童には、これにかわる環境が与えられる。
⑤	児童の権利に関する条約	いかなる児童も、その私生活、家族、住居若しくは通信に対して恣意的に若しくは不法に干渉され又は名誉及び信用を不法に攻撃されない。

【17】次の文章は、「保育所保育指針（平成29年改正 厚生労働省） 第1章 総則
1 保育所保育に関する基本原則 （2）保育の目標」の一部である。（a）～（e）に当てはまる語句の正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

ア 保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場である。このため、保育所の保育は、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うために、次の目標を目指して行わなければならない。

- (ア) 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし（a）の保持及び情緒の安定を図ること。
- (イ) 健康、安全など生活に必要な（b）な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。
- (ウ) 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てるとともに、（c）及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
- (エ) 生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や（d）の芽生えを培うこと。
- (オ) 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養うこと。
- (カ) 様々な体験を通して、豊かな感性や（e）を育み、創造性の芽生えを培うこと。

イ 保育所は、入所する子どもの保護者に対し、その意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士等の専門性を生かして、その援助に当たらなければならない。

	a	b	c	d	e
①	身体機能	社会的	自主、自立	思考力	判断力
②	生命	基本的	自主、自立	思考力	表現力
③	身体機能	社会的	自主、自立	探究心	表現力
④	生命	社会的	公正、公平	思考力	判断力
⑤	身体機能	基本的	公正、公平	探究心	表現力

【18】 次のア～カの文章は、浴衣の着方（女性の場合）の手順を説明したものである。
(a) ~ (d) に当てはまる語句の正しい組合せを、下記の①~⑤の中から一つ選べ。

- ア (a) をそろえて背中心を体の中心に、すそを足首の高さに合わせる。
イ 下前の (a) を左腰骨の位置に合わせる。
ウ 上前を重ね、腰骨の上で腰ひもを締める。
エ (b) から手を入れ、(c) を整える。
オ えり元を合わせて、(d) でひもを締める。
カ 帯を締める。

	a	b	c	d
①	えり先	ふり	おくみ	腰骨の上
②	けん先	ふり	おくみ	胸の下
③	えり先	身八つ口	おはしょり	胸の下
④	けん先	身八つ口	おはしょり	腰骨の上
⑤	えり先	身八つ口	おくみ	胸の下

【19】 次の①～⑤の文章のうち、「洗濯表示（平成28年12月1日以降 消費者庁）」の説明として適切でないものを一つ選べ。

- ① 洗濯表示は、5個の基本記号、及び基本記号と組み合わせて用いる幾つかの付加記号で構成する。
- ② 記号の下の一本線は、下線のない同じ記号で示される処理よりも強い処理を表す。
- ③ 乾燥処理記号及びアイロン仕上げ処理記号の処理温度を表す付加記号は、ドット表示する。ドット数が増えると処理温度がより高いことを表す。
- ④  は、「塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる」ことを表す。
- ⑤  は、「ぬれつり干し乾燥がよい」ことを表す。

【20】 次の表の①～⑤のうち、化学繊維の種類と原料や性質の組合せとして適切でないものを一つ選べ。

	化学繊維の種類	原料や性質
①	アセテート	パルプに酢酸を反応させてつくった繊維
②	ポリ乳酸	とうもろこしを原料につくられる生分解性繊維
③	レーヨン	ゴムに似た伸縮性があり、一般にスパンデックスと呼ばれている繊維
④	キュプラ	コットンリンターを原料とした繊維
⑤	プロミックス	牛乳たんぱくにアクリルの原料を反応させてつくった繊維

【21】 次の表は、豚汁の材料と分量(2人分)である。30人分作るとき、(ア)と(イ)に当てはまる正しい数字の組合せを、下記の①~⑤の中から一つ選べ。

«2人分» (野菜は可食部分の重量)

ごぼう	50 g	だいこん	90 g
にんじん	40 g	ねぎ	10 g
さといも	42 g	薄切り豚肉	100 g
ごま油	4 g	赤みそ	20 g
水	適量		

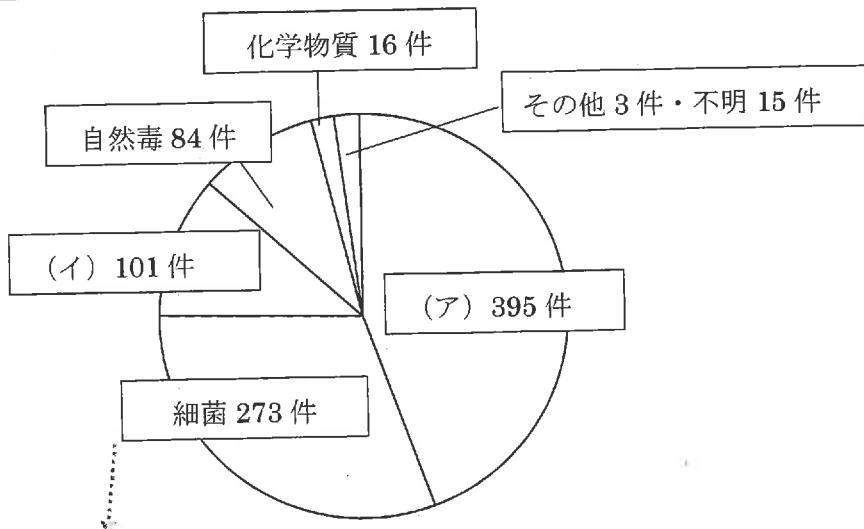
○だいこんの必要な重量は、(ア) gである。ただし、だいこんの廃棄率は10%である。

○塩分含有量12%の赤みそを使用し、塩分濃度0.8%の豚汁を作るとき、(イ) gの水が必要である。(ただし、蒸発分は考えないものとする。)

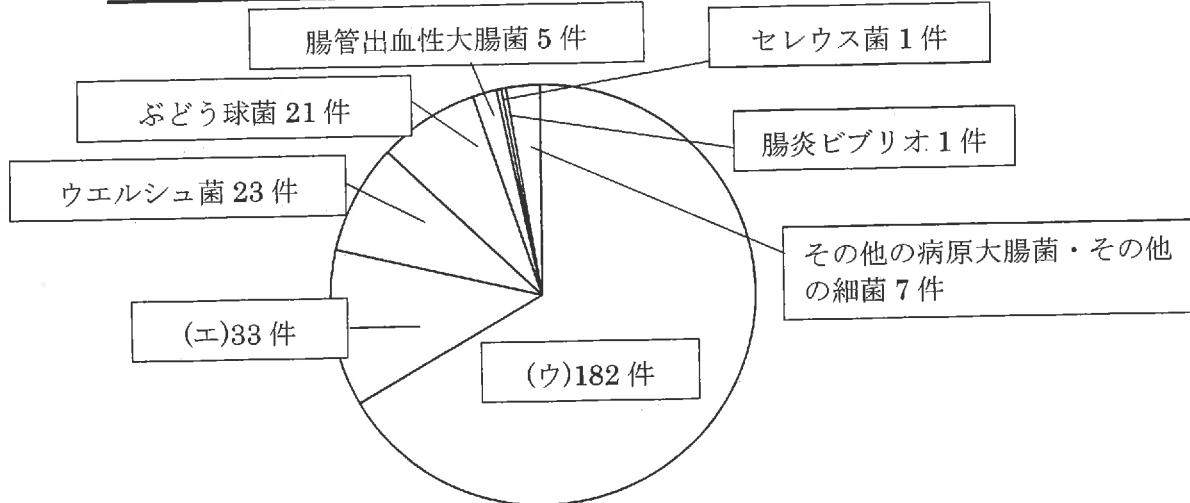
	ア	イ
①	1,500	4,500
②	1,485	3,750
③	1,500	3,750
④	1,485	4,000
⑤	1,485	4,500

【22】 次のグラフは、「令和2年 病因物質別月別食中毒発生状況（厚生労働省）」を示したものである。グラフ中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

[A] 「令和2年 病因物質別月別食中毒発生状況（事件数）」《総数 887 件》



[B] 病因物質【細菌 273 件】の内訳



	ア	イ	ウ	エ
①	ウイルス	寄生虫	サルモネラ属菌	カンピロバクター
②	ウイルス	寄生虫	カンピロバクター	ボツリヌス菌
③	寄生虫	ウイルス	カンピロバクター	サルモネラ属菌
④	寄生虫	ウイルス	サルモネラ属菌	ボツリヌス菌
⑤	ウイルス	寄生虫	ボツリヌス菌	サルモネラ属菌

【23】 次の表は、第3次食育推進基本計画（2016年度から2020年度）における食育の推進に当たっての目標値と現状値（2019年度）の一部である。(a)～(e)に当てはまる目標を【選択肢】から選んだときの正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

食育の推進に当たっての目標	計画作成時の値 (2015年度)	現状値 (2019年度)	目標値 (2020年度)
(a)	75.0%	76.2%	90%以上
(b)	4.4%	4.6%	0%
(c)	26.9% [2014年度]	26.0% [2018年度]	30%以上
(d)	67.4% [2014年度]	76.5%	80%以上
(e)	41.6%	47.9%	50%以上

【選択肢】

- ア 朝食を欠食する子供の割合
- イ 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合
- ウ 学校給食における地場産物を使用する割合
- エ 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合
- オ 食育に関心を持っている国民の割合

	a	b	c	d	e
①	イ	ア	ウ	オ	エ
②	オ	ウ	エ	イ	ア
③	イ	ウ	ア	オ	エ
④	イ	ア	エ	オ	ウ
⑤	オ	ア	ウ	イ	エ

【24】 次の表は、食事摂取基準（厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2020年版）」2019年）の一部である。（ア）～（オ）に当てはまる数字の正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

食事摂取基準（1人1日あたり）

年齢・性別	エネルギー・栄養素	エネルギー	たんぱく質	無機質		ビタミン				脂質	食塩相当量	
				カルシウム	★2 鉄	ビタミンA	ビタミンB ₁	ビタミンB ₂	ビタミンC			
				kcal	g	mg	mg	★1 μg	mg	mg	μg	
12～ 14歳	男	2,600	60	(イ)	10.0	(エ)	1.4	1.6	100	8.0	20～30	7.0未満
	女	(ア)	55	800	(ウ)	700	1.3	1.4	100	9.5	20～30	(オ)未満
30～ 49歳	男	2,700	65	750	7.5	900	1.4	1.6	100	8.5	20～30	7.5未満
	女	2,050	50	650	10.5	700	1.1	1.2	100	8.5	20～30	6.5未満

エネルギーは推定必要量の参考値であり、個人差がある。食塩相当量は目標量、ビタミンDは目安量、脂質は総エネルギーに占める割合、他の栄養素は推奨量を示す。

★1 1 mg = 1,000 μg ★2 鉄の項目「女」の数値は「月経あり」の場合である。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	2,400	1,000	12.0	800	6.5
②	2,050	900	12.0	800	7.0
③	2,400	1,000	13.0	900	7.0
④	2,050	900	13.0	900	7.0
⑤	2,400	900	12.0	900	6.5

【25】 次の（ア）～（オ）の文章のうち、安全で快適な生活環境について述べたものとして、正しいものを○、間違っているものを×としたとき、○、×の正しい組合せを、下記の①～⑤から一つ選べ。

- (ア) 建物と地盤との間に積層ゴムなどの特殊な装置をつけ、揺れを建物に直接伝えないようにした構造を耐震構造という。
- (イ) トランкиング現象とは、プラグとコンセントの間にほこりがたまり、ほこりが湿気を吸うことにより電流が流れて発熱し、発火することである。
- (ウ) シックハウスの原因となる化学物質の室内温度を下げるため、平成15年7月施行の都市計画法により、原則として全ての建築物に機械換気設備の設置が義務付けられた。
- (エ) 自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図をハザードマップという。
- (オ) 学校環境衛生基準（文部科学省令和2年12月一部改正、令和3年4月1日施行）では、教室等の相対湿度は、30%以上、80%以下であるのが望ましいとされている。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	○	×	○	×	○
②	×	○	○	○	×
③	○	×	×	○	×
④	×	○	○	×	○
⑤	×	○	×	○	○

【26】 次の文章は、「持続可能な開発のための2030アジェンダ（平成27年国連サミットで採択）」や「SDGsアクションプラン2021（2020年12月SDGs推進本部会合で決定）」について述べたものである。（a）～（d）に当てはまる語句の正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

- 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、平成28年から令和12年までの（a）目標である。序文、政治宣言、持続可能な開発目標、実施手段、フォローアップ・レビューで構成されている。先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴である。
- 持続可能な開発目標の17のゴールの中には、『12つくる（b）つかう（b）』がある。持続可能な生産消費形態を確保することを目標としている。
- 「SDGsアクションプラン2021」（基本的な考え方）の中には、「SDGsが達成された、しなやかで強靭な、経済と環境の好循環のあるウィズ・コロナ、ポスト・コロナの時代を実現するには、社会全体の（c）が必要であり、あらゆる関係者が一体となって取り組んでいく必要がある。」とある。
- 「SDGsアクションプラン2021」（2021年の重点事項）の中には、「栄養、水、衛生等、（d）取組を通じて感染症に強い環境整備を進める。東京栄養サミットの開催を通じて世界的な栄養改善に向けた取組を推進し、国内では食育や栄養政策を推進する。」とある。

	a	b	c	d
①	国際社会共通の	責任	行動変容	分野横断的
②	ミレニアム開発	安全	行動変容	持続可能な
③	国際社会共通の	安全	発想の転換	分野横断的
④	国際社会共通の	安全	発想の転換	持続可能な
⑤	ミレニアム開発	責任	発想の転換	分野横断的

【27】次の文章は、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成18年6月21日法律第91号）」の一部である。（a）～（d）に当てはまる語句の正しい組み合わせを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

第一章 総則

（目的）

第一条 この法律は、高齢者、障害者等の自立した日常生活及び社会生活を確保することの重要性に鑑み、公共交通機関の旅客施設及び車両等、道路、路外駐車場、（a）施設並びに建築物の構造及び設備を改善するための措置、一定の地区における旅客施設、建築物等及びこれらの間の経路を構成する道路、駅前広場、通路その他の施設の一体的な整備を推進するための措置、移動等円滑化に関する国民の（b）及び協力の確保を図るための措置その他の措置を講ずることにより、高齢者、障害者等の移動上及び施設の利用上の利便性及び安全性の向上の促進を図り、もって（c）福祉の増進に資することを目的とする。

（令二法二八・一部改正）

（基本理念）

第一条の二 この法律に基づく措置は、高齢者、障害者等にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものの除去に資すること及び全ての国民が年齢、障害の有無その他の事情によって分け隔てられることなく（d）する社会の実現に資することを旨として、行われなければならない。

（平三〇法三二・追加）

	a	b	c	d
①	商業	意識の向上	高齢者	共生
②	公園	理解の増進	公共の	共生
③	商業	理解の増進	公共の	持続
④	公園	意識の向上	高齢者	持続
⑤	商業	理解の増進	高齢者	共生

【28】 次のア～キの文は、1982年に国際消費者機構（C I）が提唱した「消費者の8つの権利と5つの責任」の一部である。ア～キを消費者の権利と責任に分類したときの正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

ア 主張し行動する

イ 健全な環境を享受する

ウ 環境への配慮をする

エ 選択する

オ 連帯する

カ 批判的意識を持つ

キ 安全を求める

	権利	責任
①	イ・エ・キ	ア・ウ・オ・カ
②	ア・イ・エ・カ	ウ・オ・キ
③	ウ・エ・オ・キ	ア・イ・カ
④	ア・ウ・オ	イ・エ・カ・キ
⑤	イ・カ・キ	ア・ウ・エ・オ

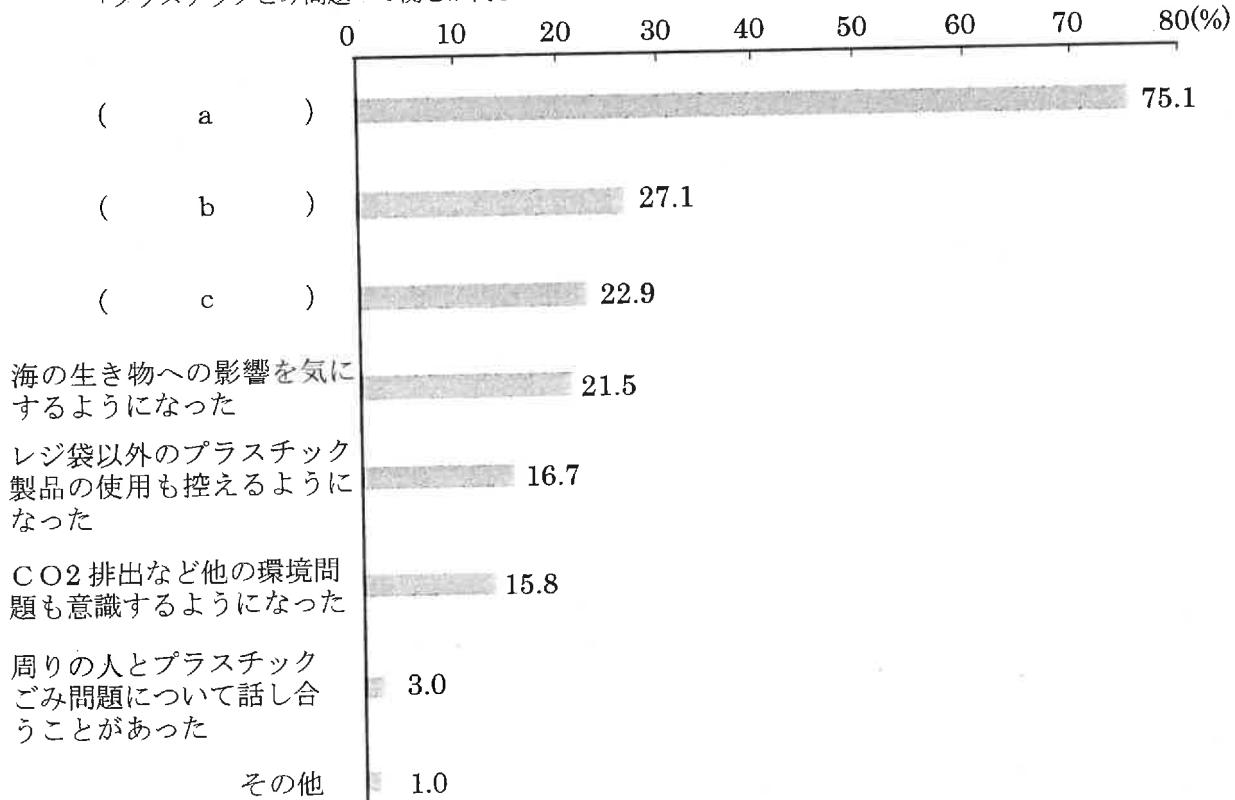
【29】 次のA～Eの文章のうち、「令和3年版消費者白書（第204回国会（常会）提出 消費者庁）第1部 消費者問題の動向と消費者意識・行動 第1章 消費者事故等に関する情報の集約及び分析の取りまとめ結果等 第3節 消費生活相談の概況」に示された内容をまとめたものとして正しいものを○、間違っているものを×としたとき、○、×の正しい組合せを下記の①～⑤から一つ選べ。

- A 全国の消費生活センター等に寄せられた消費生活相談の件数をみると、2020年は93.4万件となり、前年と比べ約9万件増加した。
- B 2020年の消費生活相談状況について、属性別にみると、年齢層別では65歳以上の高齢者が契約当事者全体の29.0%を占めている。
- C 29歳までの若者の消費生活相談は、各年齢層共にインターネット関連の相談や美容に関する相談が上位にある。
- D 販売購入形態別に相談状況をみると、2020年の特徴は、「通信販売」の割合が全体で増加した。「インターネット通販」について、商品・サービス別にみると「デジタルコンテンツ」の割合が増加している。
- E トラブルになりやすい商法や手口に関する相談の相談件数をみると、「ネガティブ・オプション」は2020年に6,550件と2016年の2,899件の倍以上に増加した。

	A	B	C	D	E
①	○	×	○	○	×
②	○	○	×	○	×
③	×	○	×	○	○
④	○	×	○	×	○
⑤	×	○	○	×	○

【30】 次のグラフは、「令和2年11月レジ袋使用状況に関するWEB調査」(環境省)で、「プラスチックごみ問題への関心が高まったことで、どのような行動や意識の変化があったか」について調査した結果である。(a)～(c)に当てはまる言葉を【選択肢】から選んだとき、正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

「プラスチックごみ問題への関心が高まったことで、どのような行動や意識の変化があったか」(複数回答)



- 【選択肢】
- ア もともと持っていたマイバッグを、さらに使うようになった
 - イ レジ袋以外のプラスチック製品のリサイクルに協力するようになりごみの分別を、以前より行うようになった
 - ウ マイバッグ（エコバック）を購入した

	a	b	c
①	ア	イ	ウ
②	ウ	イ	ア
③	ア	ウ	イ
④	イ	ア	ウ
⑤	ウ	ア	イ

令和4年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第1次選考試験 中学校専門 家庭

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	⑤	④	⑤	①	②	④	②	③	②	③

問題番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	①	③	⑤	①	⑤	①	②	①	⑤	③

